

平成24年度 事業計画書

平成24年度における事業計画の概要は次のとおりです。

1 博物館事業

魅力ある博物館づくりをめざし施設のリニューアルを実施し、常設展示をはじめ特別展・ミニ企画展等の充実、学校教育活動等特に総合的な学習への協力等を行うなど、絹知識の普及と需要の推進に寄与するよう努めます。

(1) 普及事業

ア 一般展示事業

(ア) 養蚕実演・蚕種配布・総合学習支援事業

飼育展示期間 4月上旬～10月上旬

蚕種配布対象 県内及び近都県の小学校・幼稚園等 約600校

(イ) ミニ企画展示

○ 田島比呂子作品の展示

[会 期] 平成24年6月19日(火)～7月16日(月)、9月8日(土)～10月5日(金)

○ 手織り機の展示

[会 期] 平成25年1月5日(土)～1月27日(日)

○ つまみかんざしの展示

[会 期] 平成25年3月2日(土)～3月24日(日)

○ 実演・講習会の開催

「くみひも作り実演と講習会」「クテ打組紐講習会」「真綿作り実演と講習会」「太糸作り実演と講習」「真綿太糸指編み実演」「手紬糸作り実演と講習会」「つまみかんざし講習会」等開催し、これらの実演や体験を通して、繭、生糸、真綿、絹への理解を深め絹需要の促進に努めます。

○ シルキークリスマスの開催

[会 期] 平成24年12月4日(火)～12月24日(月)

若い世代を含め多くの方々に、シルクの不思議と魅力を知っていただくためのイベントを東京農業大学及び関東学院大学等と連携して行います。

学校等で子供たちにより作成された観察絵日記等「かいこの観察記録」を展示して、自然の営みのすばらしさを再確認し、学校相互の情報交換の機会を提供します。

イ 特別展事業

(ア) 特別展 「美しい日本の絹 ユミ カツラ ブライダルコレクション」

[会 期] 平成24年4月25日(水)～6月10日(日)

日本ブライダル界の第一人者、桂由美デザインのウエディングドレス、イブニングドレスなど日本の美しいシルク生地を使った約70点を展示紹介します。

(イ) 特別展 「第22回全国染織作品展」

[会 期] 平成24年10月13日(土)～11月25日(日)

絹を用いた染織作品を広く全国から公募し、専門家による審査のうえ、入選作品を一堂に展覧します。

(ウ) 特別展 「親と子のかいこの自然科学教室」

[会 期] 平成24年7月24日(火)～8月12日(日)

かいこの生態観察や糸繰り、はた織り、まゆ人形作り、真綿作りなどの体験学習を通して自然の営みを知り、自然と共存することの大切さなどを学ぶ教室を開催し、理科教育、総合的な学習などの支援を行います。

(2) 広報事業

小・中学校をはじめ、服飾関係学校、ホテル、旅行会社や新聞、雑誌、報道機関等のほか、駅の電光掲示板やポスター掲示、インターネット等を積極的に利用して来館者の増加を図り、絹知識の普及と需要増進に寄与するよう努めます。

(3) かながわシルク製品等物産展の開催

シルク製品の普及・啓発及び販路拡大等を図るため、シルク製品に関わりのある団体及び神奈川県と共同で「かながわシルク製品等物産展」を開催し、横浜港の繁栄を支えてきた生糸、シルクの魅力の周知に努めます。

(4) 博物館実習生の受入れ

今年度も大学で学芸員資格を取得するため、博物館学を履修している学生の博物館実習を受入れます。

(5) ミュージアムショップ事業

2 部室提供事業

ホームページを活用したPRなどによりテナントの誘致を積極的に展開するとともに、良質な部室の提供に努め、入居率の一層の向上をめざします。

(1) 一般の部室提供

(2) シルクセンターSOHOの部室提供

3 建物及び諸設備等の維持向上業務

本年度においても会館の財務状況を踏まえつつ、会館全体の一体的管理の観点から建物設備の安全の確保や長期寿命化を図るとともに、良好な執務環境の整備に努めます。

4 附帯事業

入館者及び来館者等の利便に供するため、立体機械式車庫の適切な管理運営に努めます。正面玄関前時間貸平面駐車場はタイムズ24株式会社に管理運営を委託します。